

横断的な課題 **個別支援計画作成（アセスメント～モニタリング）**

[基礎] 研修検討チーム

第 2 回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
●具体的なアセスメントを提示できていないのではないか	●具体的ななどのようにアセスメントを行うのか演習に組み込みたかったが、文章と動画、そして時間的な制約等でなかなか難しい。また具体的という点では分野別の状況も必要となるが、この研修でどこまで補えるのか、または必要なのか。 （基礎講義動画→分野別のアセスメントの視点、実践演習→分野別の共通点を考える）	●分野別の視点をどこまで触れるか確認したい。 ●いくつか話し合う項目を定め、分野が違う受講生同士で話し合った方がリアリティのあるグループワークになるのではないか。				

横断的な課題

個別支援計画作成（アセスメント～モニタリング）

[基礎] 研修検討チーム

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
◆実践研でICFを用いたワークがあるが受講者の理解が追いついていない。	◆基礎研では講義動画でICFを説明しているがそれだけでは足りない。その一方で基礎演習に落とし込む難しさも感じている	◆ICFについての取扱い（基礎でどこまで伝えられると良いか）				

横断的な課題

個別支援計画作成（アセスメント～モニタリング）

[基礎] 研修検討チーム

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
□ニーズをどのように捉えるか、そして対応するか、は深まり変わっていくものであるため、研修でも深めていく組み立てがあると良い。	□過去現在未来を想像してのアセスメントや計画作成になればよいと思っているが、就職や仕事、1人暮らしというわかりやすい方向性がある一方で、結末ありきの計画作成になりがち。	□ニーズの整理表はサビ管・児発管研修以外にも様々な様式が示されているが、どのようなものが好ましいと考えるか。				

横断的な課題

個別支援計画作成（アセスメント～モニタリング）

[基礎]研修検討チーム

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
△引っ掛かりというより実践研や更新研の方々がどう感じているか伺いたい内容です。令和6年度から100文字要約を割愛しました。	△FTや検討委員から100文字要約への名残惜しさを耳にします。 特に実践研や更新研の検討委員から、復刻の要望があるのなら、検討したい。	△100文字要約につて、研修間の連動性について知りたい。				

横断的な課題

個別支援計画作成（アセスメント～モニタリング）

[基礎] 研修検討チーム

第 2 回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
■実践研に参加すると基礎研で伝えたことが抜けてしまっている受講者が多いと感じる。	■実践研修参加時に、例えば「リアルニーズ」などの言葉を忘れている受講生がいた。日常的に使用していないため、記憶に残らない。 ■研修後、事業所に戻ったらそれぞれのやり方があるからか、基礎で学んだことを取り組めていないのではないか？（OJT） ■OJT の内容にも幅がある可能性がある。 ■受講生が使いやすい表現なのか？実用的な言葉の方が良いのか？	■演習ノート、特に基礎の演習ノートを実践研でも使用できるようにならないか、（例：OJT 期間で学んだことを基礎研演習ノートに記載して持ってくる等。）※年々内容も変化しているのでファシリがどの年度（段階）を学んでいるのかも確認できるかと ■基礎→実践→更新の流れ（連続性）をこの数年で私たちは意識しているが、参加する方は当然のことながら意識していない。演習ノート、プロセス、用語、統一することで理解を進めたい ■更新研修で OJT について共有する時間を設けてはどうか？				

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
★総合的な援助の方針の捉え方について	★相談支援との連動及びサービス等利用計画（障害児支援利用計画）との連動が説明しきれていない為。	★基礎では総合的な援助の方針は「同様」として演習を進めている。昨年度までの実践研修の演習では個別支援計画の見直しの際に、その辺りは印字されており、必要に応じてトアナウンスはあるが、あまり利用者の生活全体に着目できずに進んでしまう傾向に合った。ICFを説明しているのではやはり生活に目を向けることができた上で個別支援計画が作成できると良いと思う。基礎では説明しきれない部分や、基礎の段階では理解が難しいが、実践では踏み込めると良いと思う。更に、更新研修では個別支援計画に触れる単元があまりないが、OJTを行う立場として改めて近年（統合後）の演習に触れつつ、OJTで伝えられるようにできたら良いと思う。3研修でリレーできると良いかと思う				

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
◎演習について、改めて実践研修・更新研修と比較して基礎研修を眺めて直してみると、基礎研修演習ではPDCAサイクルについて直接触れる機会が少ない。	◎実践研修チーム、更新研修チームとして、基礎研修に望むものがあるのではないかな。	◎実践研修チーム、更新研修チームとして、基礎研修に望むものがあるのではないかな。				

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
<研修間の連動> ・基礎と実践で、計画作成の手順について繰り返し説明することが大切だと感じている ・基礎と実践で共有が不足している ・実践研修後にサビ児管になるには、受講生のアセスメント～計画作成～モニタリングの理解が不十分	・受講者へ説明する際に、基礎のことを覚えていない人もいるので、繰り返しポイントなどを説明し直すことが必要だが、現状十分にできていないと感じる ・基礎のことを参照して実践研修を迎えていないと感じる（受講生の理解にばらつきあり、バラツキの修正で終わる）	・計画作成に関する考え方の共有 ・作成の手順、ポイント、使用するシートの統一 ・計画作成の手順の統一（ニーズ→長期目標→短期→具体的な到達目標等？） ・計画作成の際のポイント（曖昧な表現×など、1つのスライドを作り共有） ・ニーズ整理表、アセスメントシートの統一 ・また、基礎から実践になることで、よりよい計画作成ができるようなワークにしたい（それぞれの研修で繰り返し/重なり合いつつもそれぞれの研修での目的の違いを明確にする） ・基礎のテキストの内容（スライド）を同じものを実践でも使う ・（逆に）実践研修でどの程度基礎研修を振り返る必要性を感じるか・他の研修委員にお聞きしたい（ファシリなどで関わっているお立場から）				

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
<各研修の目的の整理によるサビ児管の質向上> ・以前より実践研修を受講する方々で、レベルの差を感じることがある ・基礎、実践、更新では研修のテーマ、目的が違う事をもう一度確認した方が良いと思いました 基礎 【テーマ】理解と導入 【内容】講義と演習 【視点】個別支援計画の目的、構成要素（アセスメント、長期・短期目標、支援内容、評価）、作成プロセスの理解。 実践 【テーマ】実務への応用 【内容】支援課題分析とケース検討、多職種連携 【視点】実際の支援記録や課題をもとに、より具体的・効果的な支援計画をどう作るかを学ぶ 更新 【テーマ】質の保証とマネジメント 【内容】チーム指導視点、制度動向の反映 【視点】計画の質をチーム全体で高める方法、支援者の力量向上支援	・この実践研修後にそのレベル（この後サビ管の資格を有す）ではサービスの質に影響してしまう懸念がある ・研修の目的と内容と受講者の理解の差が年々ひらいていく課題を感じている。各研修の達成状態に到達できない受講生が増えている	・更新も含めて質の向上の意見を伺いたい ・共通の学びというテーマで整理する方法があると思いました。 ① 本人中心の原則（例：本人の意思、希望、価値観、その人らしさ、倫理的土台の大切さ） ② チームによる支援（例：個人で完結しない事を意識、関係者との連携） ③ PDCA サイクル（例：支援の過程におけるズレや変化に柔軟に対応する。サイクルの重要性） ④ アセスメントの質（例：ストレングス、ニーズ、リフレーミング、説明責任を持てるアセスメントの重要性） ⑤ モニタリングの質（利用者変化と振り返りと情報共有） どの研修で毎回確認する。 各研修の部分を少し削って、共通の学びを入れるなど時間の問題と各研修目的を達成するミッションもあるのでバランスをどう取るかは課題。 共通の学びをまとめると 「一人ひとりの人生の伴走者として、記録し、振り返り、共に変化していく支援」というイメージでざっくりですが整理できるのではと考えました				

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
更新研修では、個別支援計画作成についてのカリキュラムがない。	○基礎～実践研修以降、学び直す機会がない。繰り返し確認し、深めていく必要性を感じている。 ○自己流になってしまっている。受講生からも再度学び直しができるかと思っていたという声が上がった。	基礎研修修了者への「適切なOJT」の実施を浸透させていくため、更新研修で取り組んで欲しい事があるか。				

横断的な課題

会議の実施（連携）

[基礎]研修検討チーム

第 2 回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引かかること	なぜ引かかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
●相談支援専門員との連携（サービス担当者会議）	●サビ管・児発管と相談支援専門員の位置づけや役割の違いが理解できていないため、深める会議と広げる会議の区別がわからなくなってしまう	●基礎研修でも相談支援専門員との連携は、主に講義で触れているが演習では多く触れられていない。しかし相談支援専門員について深く広げてしまうと受講生が混乱することも予想できる。今年度の基礎研は間に合わなかったが、次年度に向けて、相談支援専門員の役割や位置づけについて共通の説明ができると良いと思う。そうすることで、各演習の相談との連携のイメージが持てるように感じる				

横断的な課題

会議の実施（連携）

[基礎]研修検討チーム

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引かかること	なぜ引かかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
■会議名称の統一とプロセス確認	■サービス担当者会議、個別支援会議、事前会議、事例検討会議等、受講者がその目的と内容を理解できているのか。ごちゃごちゃになっている受講者もいる	■基礎研修ではこの1～2年で進行スライドに共通のプロセス図を用いてどの時期なのかを説明するようにしている。実践・更新と共通のプロセス図を使用し、演習前に確認するのはどうか。また共通プロセス図を使用することで名称の統一も図れないか				

横断的な課題

会議の実施（連携）

[基礎]研修検討チーム

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引かかること	なぜ引かかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
▲基礎研修と実践研修において、「個別支援会議」の演習（ロールプレイなど）について、伝えたいことを統一した方が良	▲基礎研修では(演5)「本人への説明と同意」、(演6)「モニタリングを実施する手前の状況や意向の確認」、実践研修では(演5)「職員教育を兼ねて個別支援会議の前に準備を行い実施する」 特に引っかかっているわけではないが、伝えたいことなどを整理・統一すると互いの演習がブラッシュ・アップすると思う。	▲左記に同じ				

横断的な課題

会議の実施（連携）

[実践] 研修検討チーム

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
<会議の名称の統一> ・会議の種類が多く、会議名によりイメージする内容がそれぞれの人（受講者、ファシリを含めて）で異なると思うので混乱しやすいように感じる ・言葉の概念。会議の名称と会議の意味	・各事業所で使われている名称が異なるため、イメージしにくく、統一した説明が必要だと感じるため ・事業所で行っている会議の名称と目的とが研修時と異なる事への理解に時間を要している	・会議名とその内容の説明を統一し、1枚のスライドにまとめて共有したい（説明の際はそれを提示して説明できるように）				

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
<各研修で扱う会議の目的の整理> ・各研修で扱う会議の種類やワークの目的を明確にしたい。 ・会議体の目的と研修内容で到達して欲しい目的が2つ存在している為、より難しいように感じてしまう受講生がいる。	・基礎でも実践でも個別支援会議を扱うが、それぞれワークで伝えたい目的は異なると思うので、それを明確にしたほうが受講者も理解しやすいのではないかと思うため。またそのほうがファシリもコメントしやすいのではないか ・研修の到達目的が忘れがちになる事がある	・どの研修でどの会議やテーマをメインに説明するかを明確にしたい（ex.基礎研：利用者主体のテーマで個別支援会議、実践研：人材育成をテーマに事業所内のチームを作るための個別支援会議の事前会議や事例検討会など。サービス担当者会議は？） ・また、会議の進め方のポイントなどもまとめたい（ex.話の聞き方（あいづち、言葉を返すなどの話を聞くポイント等）、事前準備、事後共有など） ・会議の目的の整理 【基礎】会議に参加して、支援へ活かす 【実践】会議を進行して、支援目標を共有する 【更新】会議体を設計し、支援体制を構築、マネジメントする。目的が違う事を説明して理解をしてもらう。				

横断的な課題

会議の実施（連携）

[更新] 研修検討チーム

第2回検討会までに①から③について各検討チームで整理、入力してください。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
研修を進めていくうえで引っかかること	なぜ引っかかるのか	①②を踏まえて他のチームへの質問と希望	意見交換したこと	解決案	到達レベル	備考
更新研修では、会議について統一した視点でまとめていないので、何の会議を示しているのか明確になっていない。 会議名がたくさんあり過ぎて、忙しくなりそうと思ってしまう。	サビ管として、事業所内での会議や個別支援会議、サービス担当者会議に出席する事なのかなど、それぞれの会議の内容や目的などの整理が受講者はできているのか不安になる。	更新研修で特に意識して欲しい会議があるか。 呼び方、目的、実施方法、位置づけ、参加者等、会議について統一した視点を示す必要はあるか。				